

令和 7 年 7 月 23 日
三重県総務部デジタル推進局

次期三重県 DX 推進基盤の整備に係る情報提供依頼書

1 背景

本県では、人口減少・少子高齢化に伴い、行政ニーズの多様化や課題の複雑化が進む一方、自治体における経営資源が大きく制約を受けることも長期的には想定される中、デジタル技術を活用して課題等を解決し、持続的な行政運営を実現する「行政 DX」の推進に着手しており、職員の意識改革やデジタルスキル向上などの「人材育成」と、デジタル技術の利活用を支える「基盤整備」を推進の両輪と捉え、積極的な取組を進めています。

令和 4 年度には、業務効率と生産性の向上、県民目線の行政サービスの継続的な提供を実現していくことを目的に、職員の柔軟で多様な働き方や、迅速な情報共有・意思決定、さらには、データ利活用を前提とした政策立案や行政サービスの提供を可能にする「三重県 DX 推進基盤」（以下、「現行システム」という。）を整備しました。

現行システムは、令和 10 年 3 月末に保守期限を迎えることから、現在、次期三重県 DX 推進基盤（以下、「次期システム」という。）の構築に向け、現行システムや周辺契約の検証・分析等を行うとともに、次期システムの全体像や機能の概要を明確にした構想を策定する等の準備を進めています。

2 次期システムの前提条件

次期システムは、現行システムが有する 3 つの構成要素（コミュニケーション基盤、セキュリティ基盤、データ活用基盤、その他）の機能を可能な限り費用を抑えながら維持することを前提とします。

なお、各クラウドサービス等における利用者数は、8,000 人としてください。

3 資料

別紙 1 三重県 DX 推進基盤の概要

別紙 2 三重県 DX 推進基盤共通仕様書（現行システム仕様書）

別紙 3 三重県 DX 推進基盤関連契約一覧

別紙 4 次期三重県 DX 推進基盤の構築（次期三重県 DX 推進基盤の構築方針）

別紙 5 次期三重県 DX 推進基盤整備スケジュール

4 情報提供依頼事項

3 の別紙を参考に、以下の項目について提案してください。

なお、提案は「(2) 構成要素」の一部項目（ソリューション等）であってもかまいません。

ただし、一部項目の提案であっても「(3) 運用要件」及び「(4) 費用積算」についてもあわせて情報提供をお願いします。

(1) 全体構成

現行システムの構成を参考に、次期システムの全体構成について提案してください。

特に、別紙 4「次期三重県 DX 推進基盤の構築（次期三重県 DX 推進基盤の構築方針）」

に示す現行システムの課題や目指す姿を参考に、利便性向上及びセキュリティ確保の両面から、優れた構成があれば、積極的な提案をお願いします。

また、他自治体や民間の事例等により、本書に示す要件を満たすために有効な機能や形態があれば、積極的な提案をお願いします。

(2) 構成要素

以下のア～エの構成要素について、適用可能と考えられる具体的な製品またはサービスを提案してください。

また、それぞれの製品またはサービスを導入するにあたり、必要となる仕様要件等を提案してください。

なお、それぞれの製品提案にあたっては、ア～エに記載した事項に留意するものとし、製品の特徴のみならず、機能及び運用の両面で優位性について記載してください。

ア コミュニケーション基盤

(ア) 概要

コミュニケーション基盤では、庁内メールやインターネットメール、グループウェアの各システムについて、オンプレミス方式からクラウドサービスへ移行・刷新しました。

また、各種業務のニーズや課題に対して、業務の内容を理解している職員が、自ら課題解決のためのアプリケーション等を容易に内製し、展開することができる業務効率化ツール（ノーコード／ローコード）を導入しています。

(イ) 構成

統合ツール	Microsoft Office 365 E3 Microsoft Enterprise Mobility + Security E3
ビジネスチャット	slack

(ウ) 課題

クラウドサービスについて、機能が充実しているものの利用料が非常に高価であり、費用対効果を高めていくことが課題となっています。

また、特に業務効率化ツールについては、現時点で機能を有効に利用できているとは言えず、より利用しやすい製品とすることや、職員に対する利用方法の教育等の環境整備が課題となっています。

イ セキュリティ基盤

(ア) 概要

a. クラウド環境

インターネットアクセスによるコミュニケーションの強化を前提とした業務環境の整備に向けて、庁内ネットワークを「三層の対策」におけるβ'モデルとして運用しています。

また、庁外持出しパソコンによるテレワーク環境の強化を見据え、従来型の「境界型防御」から「ゼロトラストセキュリティ」への転換を行いました。

b. オンプレミス環境

庁内端末のログオン認証や、オンプレミスシステムのシングルサインオンを行うため、庁内認証基盤を導入しています。

また、各業務端末の資産管理やリモートサポートを実施するため、

資産管理ソフトを導入しています。

(イ) 構成

SASE	PaloAlto 社 Prisma Access
接続用ファイアウォール	PaloAlto 社 PA-3420 (2 台冗長構成)
EPP	Microsoft Defender
EDR	Tanium
庁内認証基盤	Active Directory(Windows Server 2019)
IDaaS	Microsoft Entra ID P1(EMS E3 に含む)
資産管理ソフト	Skysea Client View

(ウ) 課題

a. クラウド環境

クラウドサービス向けのトラフィックを全てデータセンターに集約してアクセスさせる方式をとっていますが、増大するトラフィックによる回線輻輳等が発生する恐れがあるため、インターネットアクセス経路の最適化が課題となっています。

また、SASE に接続している庁外持出しパソコンにおいては、接続エージェントを導入し、デバイスの健全性等に基づく継続的なアクセス評価や生体認証による端末ログオン等を実施していますが、アクセスできなくなった端末への対応が生じる等、セキュリティと利便性のバランスが課題となっています。

b. オンプレミス環境

ランサムウェア感染等、高度化するセキュリティリスクに対して、Active Directory における ID セキュリティを高めることが課題となっています。

ウ データ活用基盤

(ア) 概要

庁内で保有するデータの把握を行うとともに、オープンデータの充実に取り組んでいます。

また、データの収集・蓄積・加工・分析に加え、ダッシュボードやデータカタログ等により可視化が可能となるデータ活用基盤を整備し、実証実験に取り組んでいます。

(イ) 構成

データ活用基盤	Google Cloud Platform
オープンデータ基盤	Bodik ODCS
データ収集・加工・蓄積	Cloud Storage、Pub/Sub、BigQuery 等
データ活用・可視化	Looker Studio 等

(ウ) 課題

データ活用基盤を活用して、年間 3 テーマずつ課題に取り組んでいます。が、効果的なユースケースの確立や利用促進が課題となっています。

また、データ活用基盤を利用してデータ分析と活用を行うことのできる人材の育成も課題となっています。

エ その他

(ア) 端末通信環境

現行システムにおいては、庁外持出しパソコンにデータ通信専用 SIM (500MB/月) を搭載しています。

LTE 規格の SIM を採用していることから、外出先等での通信速度に課題があります。

次期システムにおいては、通信速度とコストのバランスが取れた通信環境を準備したく、より効果的なサービスがあれば積極的な提案をお願いします。

(イ) クラウド接続用回線

現行システムにおいては、クラウドサービス向けのトラフィックを全てデータセンターに集約してアクセスさせる方式をとっており、通信の種別により、次の回線を適宜割り当てて利用しています。

6Gbps (ベストエフォート) ×1

1Gbps (ベストエフォート) ×1

1Gbps バースト、200Mbps 帯域保障×1

増大するトラフィックの最適な分散方法について、より優れた方式があれば積極的な提案をお願いします。

(ウ) 利活用支援体制

現行システムでは、基盤の整備に加え、デジタルツールの活用支援を実施しています。

次期システムにおいては、導入した基盤やデジタルツールの一層の活用を促進しつつ、変化するニーズにも対応するため、継続的な評価と改善を可能にするとともに、専門的な知見に基づく具体的な助言や技術的支援を通じて、効果的な業務課題の解決につながる提案をお願いします。

(3) 運用要件

(2)のそれぞれのシステムの保守・運用要件を提案してください。

ただし、保守・運用は、24 時間 365 日行うことを前提とします。

また、リモートによる保守・運用も可とします。

(4) 費用積算

業務区分（設計、構築、移行、保守・運用）ごとに 7 年間の年度別費用を記載してください。

記載にあたっては、各サービスや製品の価格は、可能な限り、定価だけでなく実売価格での見積りをお願いします。

なお、見積書については任意様式での提出でかまいませんが、業務区分や年度別費用がわかるよう作成してください。

(5) スケジュール

令和 8 年 12 月から令和 9 年 9 月の間で構築作業を行うと仮定し、スケジュール（設計、構築、移行、保守・運用）を提案してください。

詳細は、別紙「次期三重県 DX 推進基盤整備スケジュール」を参照してください。